臺灣日日新報
昭和十二年二月二十四日　木曜日
第一種第一號　第四千百二十三號
臺灣唯一の日刊新聞
臺灣總督府官報
臺北市北門町四丁目一番地　臺灣日日新報社
電話　本社　佐藤人行　社長　帳場

一瀉千里に審議

營業稅移管に代る小公學校費の國庫支辨に關する意見書も可決

けふ臺北州會終る

臺北州會は廿日から開會中であつたが廿一日は休會、廿二日は日曜、廿三日は天長節の祝日で休會、廿四日の本日は最終日として午前十時から開會、營業稅移管に代る小公學校費の國庫支辨に關する意見書を可決、尚ほ其の他の重要案件を一瀉千里に審議を終了、午後一時半閉會した、

本會議に上程された重要案件は、營業稅移管に代る小公學校費の國庫支辨に關する意見書、臺北州會議員選擧規則改正の件、臺北州會議員選擧人名簿調製に關する件、臺北州會議員選擧人名簿確定の件、臺北州會議員選擧人名簿縱覽期間設定の件、臺北州會議員選擧人名簿異議決定の件、臺北州會議員選擧人名簿異議決定に關する件、臺北州會議員選擧人名簿異議決定に關する件、臺北州會議員選擧人名簿異議決定に關する

軍隊宿泊の記念に 防空電燈を購入

支給される宿泊料、食費を資に 新竹市表町民の美擧

【新竹電話】昨年十一月新竹州下に於て行はれた陸軍特別大演習終了後各地に駐屯した軍隊の宿泊料並に食費は既に支給されたが新竹市表町民は此の宿泊料を資に防空用電燈を購入する事となつたが其の内訳は電燈購入費として金百圓也を市役所に寄附し其殘額は全部町内の貧困者に分配する事となつた此の美擧は實に感心なものである

中央軍機械化兵團 大擴充を企圖

國府、英國より顧問を招聘

【上海廿一日發電通信】國府軍事參議會は國防設備の決定にかかる國防強化計畫の一環として三ヶ年計畫で中央軍機械化團の大擴充を實行する事に決定し目下英國から顧問團二名を招聘した計畫の内容は不明だが主として戰車隊、騎兵隊、防空隊等を強化しようとするもので現在の如き統一の無い儘で單獨の戰車隊を數個の師團に分散されて居る戰車隊を統一する事になる

男師と二高女 筆試を全廢

沖繩も入試を緩和

【那覇本社發電】緊張を缺ける試驗地獄がいけないと當局の間に聲を出され問題となつて居た沖繩縣下の中等學校入學試驗は二月十六日から實施されるが今回は從來の筆記試驗を全廢して口頭試問と身體檢査とに重點をおき學科の如きは參考程度とする事になつた尚男子中學校は從來の如く入學試驗を行ふ事になつて居るが男子師範學校は從來の如く

御殿女中

(168)

邦枝完二作

(五)

神保朋世画

紅梅日梅(三)

その翌朝はだれ帰りおのが、日間に降りつづいた雪も、何やら名残惜しげに戸口に積つてゐた。

冬の陣以来、公儀からの御用だと云つて数回に亙つて訪ねて来た男が、またもやひょっこり半次という公儀御用聞の姿を現わした時は、はっとしてお品の方をふり返ると、出来なかつた筈であつた。さては半次の口から栄おの御使いの者が、何やらを想い見た世間のやうな変つた出来事を聞かされてはいづれも初めて耳にするお城の内日々に、つひうかうかと聞き入つて、はては無駄話をかけてしまつたのであつた。

「これ聴かぬか」

「はい。」

次の間へ向つて呼んだ近習の声に驚いて、静かに襖入つて来たのは、御広間のおひらだつた。

「上御しゃいましても。……」

「扉一に、庄吉の行方を尋ね出してこの十日の間にもう一度わらはの前へ連れて来てくれる約束なのぢや。」

「あの庄吉様でございますか。」

「さうぢや。」

「只今、何処におるなのでございます。」

「まだ何処にゐるか、それまでは判つてはゐるが、井上は何んとしても十日の間にはきつと探し出して、わらはの前へ連れて来ると、固く誓つてゐるのぢや。」

「それはまあお楽しみのことでございませう。」

「楽しみよりも、わらはは、あの庄吉が再びここへ戻つた時を想ふと何やら夢のやうな気がしてならぬ。」

「お姫様のお心持が、わたくしにはよう解るやうな気がいたしまする。」

聯珠行脚

七段　鈴木梅石

十一日

久留米より

十日朝東京着、久留米は人数兵士七大駅ひ、併軍場の陸軍其他新入兵員数万と歓せられた、駅なる非常時と数〇〇〇は〇〇と歓迎されてゐるからであることが判れる、此の日朝から雪に包まれ、時々雪毛の駅乱する様を想いて見ざるが、積もる程ではない、然し風は強く機を制す、夜になると無気は氷点下に降り寒気は更に加はり断腸的ではあるが、相変らず降つて昼た、翌朝起きて見ると白起々帳等銀景、久しか振りに見る雪に驚色として人一際彩らしく感じた、四十年振りに雪中谷山を試るも興多からんと、十一時二十分頃駅へス上の人となり約三時間余りにて久留米千兵隊を右に見て銅井町に駒り降車、北巴と降りしきる中を高良山に登る、一の鳥居から高良上垂宮と称する国歌大社高良神社の社殿まで約半里もある坂道と石段を登つたのであるが少しも疲労を覚えたので我ながら感慨な健脚と称賛にひたつた晴れ間を見て白一色に塗られた、筑豊の山野を一瞬に収めた風光の美は形容の言葉もなく唯々感嘆と嘆ふみであつた

聯珠研究會の役員改選

駅城社の長老、台湾拓殖界の功労者七段鈴木梅石氏が年勤務せる台日を過ぎ、珠法の統一と合理化と、研究の為め聯珠研究會(台北市南門町二丁目二〇井澤方)會長四段白倉好石、副會長六段井澤半次郎四段本田荒石、四段岡崎梅石、四段福住漫山、三段高木塔石、二段早兵南一段、二段、初段虎見根金之助、初段高国川雄、初段格中有吉、二級世岡敏珠、名誉顧問七段鈴木梅石(台北市南門町二丁目二〇井澤方)支社長赤石定蔵、理事二段石原南湖、四段白倉好石、常務理事六段井澤半次郎、顧問四段寺澤梅石、四段福住漫山、三段高木塔石、二段虎見根金之助

永野海相爲匡濟時局 訪兩總裁設法妥協 兩黨總裁俱已諒解

東京二十三日電。永野海相。訪問總裁。政友會。開總務會。午後二時。開幹部會。同二時二十分。江藤幹事長。正式回答永野海相。民政黨。合併同附議。但鳩山總務。或安藤幹事長。應同附議。當場開。而後回答。願此全然形式。實質的兩總裁。對永野海相所言。均表諒解云。

解散回避曙光已見 即爲海相奔走斡旋

午後在閣議合重要發言

東京二十三日電。二十二日夜。小川商相。與前田農相會見。種々交換意見。同午後十時四十五分。到大森私邸。訪永野海相。傳政黨情勢。種々協議。結果永野海相。是夜深更。至二十三日。歷訪町田民政。鈴木政友兩總裁。奔走。午後二時二十分。開重大閣議。關其善後措置。合所發言。重要協議云。

各地組合總會 或總代會

▲八林郡米穀統制組合總代選舉。去二十一日朝九時起。午後一時止。九選舉區一齊行。第一區員林街。定員五名。有權者九百六十五名中。當選者即張朝。江鐵禹。游文琳。曹孚。張清標。第二區大村庄。定員五名。有權者二百八十二名中。當選者賴金定。賴大河。賴振。第三區沙。黃彭。黃有。第三區埔鹽庄。定員六名。有權者五百三十二名中。當選者數千百三十二名中。當選者施歲。顏水棠。陳容山。陳阿炎。康加再。陳清良。定員七名。當選者楊春木。陳馬福。楊發。楊琴。陳世俊。黃啓雪。蔡丙煌。第五區彼北第三區。定員四名。有權者八百二十四名中。當選者蕭福。蕭守。蕭十五區。均被接取吞沒。詐取之財。悉數開銷於花天酒地。事發時。聞尚揚言妨赴屏東。乃於是處被拘。其親友。或會社關係者。該社創立伊始。便發生此不祥事。予新興工業會社一大打擊。至爲憾事。況當前於大正六年。會以橫領案。被處懲役三月。准予緩刑。大正九年二月。在東京裁判所。以竊盜詐欺私文書僞造行使罪。懲役八月。因非良善之徒。該社竟任用。其爲總務。豈非失策。至於市民被騙之欺。多至萬圓。且有因被所欺。致失職者。如公學校訓導周泉氏。爲欲辦職該社。託其周旋。被詐騙。桃園庄。被詐騙三百圓。保證金千圓。周旋料。現職。而入船町元公學校訓導。施庚申。爲運動會社用品納入。亦被詐二千圓。此外藉會社欺納水道料之欺。向住吉組假

臺南校長會 決明年新生 全數收容

臺南市內小公學校。長月例會。去二十一日午後一時開始活動云。

臺北州會無事終了 終在知事公室舉杯散會

臺北州會。而先定手數料。豈非本末顚倒。鼓包吳氏。亦共鳴。討論之勞。不滿足於參與之答辯。然終依多數決。通過原案。蓋鼓氏之修正案。爲欲俟州令發布。本規則後。手數料之決定。委任於參事會。提議對督府建議將來小公學校費由國庫補助事。有和泉鈴木佐藤諸氏主張。和泉氏恐議會解散。提出時期。欲一任於知事。佐藤氏主張爲非必要。終由知事指名委員五名。休憩十五分間後再開。由鼓吳委員長報告案之原文。配當金。領時無選擧。五。本人及家族等有相當收入。七。勤儉而守約束。家庭十分圓滿。八。組合所經營事業貢獻。並每年募集。或斡旋相當新加入。九。常時周行貯金及。十。每回提出通。爲一般模範等件。

飛行聯隊開隊 籌備祝賀

嘉義市役所。去二十二日午前十時。招集市內各官衙團體長。州市會議員。各區長。磯南二月五日嘉義飛行第十四聯隊開隊式。之祝宴事。決定執旅及提燈行列。其他等。同十一時。各項賀成可決。然後散會云。

臺南州番地 農業講習 養成中堅者

臺南州下番社凡十七社。人口一千六百餘名。分作五耽在。所撫育。而統轄其中沿嘉義郡中央番界線四社之拉老。耶耽花所管內。由州理蕃當局。投下總經費六千餘圓。于昨年四月末。開設臺南州蕃地農業講習所。其後頗得實績。同講習所。教授栽培水稻。及飼育牛。馬。豚。綿羊。鷄等。實際的農業上指導。並家畜飼育法。及施敎之精神的誘掖。

製帽關係者 改善懇談 打開業界不振

彰化市中部帽蓆同業組合。鑒于最近販賣景氣。諸物價昂騰。獨帽界業績不振。爲考究。打開策。去二十一日午後二時五十分。于市內西門臺灣製帽會社。邀集彰化市郡。及豐原。郡下帽界關係者等。開帽子改良。及販路擴張。協議。政策檢討之前。遑行停會解散之事。有何理由。要之。爲缺意思疏通。本諸誤解。致爾亦非全體硬化。此非常時。願協力設法匡救。又就妥協方法。相當交換意見云。

臺南州下 大詐欺橫領案公判 酌量情狀求懲役一年

臺南市上屬鯤鯓邇加。斯卓如。麻會社總務部長。宮前嘉久藏。年五十一。大詐欺。橫領案。其後宮前被拘繫。檢察官于興。開廷公判。是日勞顧。席多被害者。及妓赴屏東。乃於是處被拘。其後宮前被拘繫。檢察官于興。開廷公判。是日勞顧。席多被害者。及妓赴屏東。乃於是處被拘。其親友。或會社關係者。該社創立伊始。便發生此不祥事。予新興工業會社一大打擊。至爲憾事。況當前於大正六年。會以橫領案。被處懲役三月。准予緩刑。大正九年二月。在東京裁判所。以竊盜詐欺私文書僞造行使罪。懲役八月。因非良善之徒。該社竟任用。其爲總務。豈非失策。至於市民被騙之欺。多至萬圓。且有因被所欺。致失職者。如公學校訓導周泉氏。爲欲辦職該社。託其周旋。被詐騙。桃園庄。被詐騙三百圓。保證金千圓。周旋料。現職。而入船町元公學校訓導。施庚申。爲運動會社用品納入。亦被詐二千圓。此外藉會社欺納水道料之欺。向住吉組假

蓆麻會社總務部長 大詐欺橫領案公判

客年十二月中。登覺之蓆南市上屬鯤鯓邇加。斯卓如。麻會社總務部長。宮前嘉久藏。年五十一。大詐欺。橫領案。其後宮前被拘繫。檢察官于興。開廷公判。是日勞顧。席多被害者。及妓赴屏東。乃於是處被拘。其親友。或會社關係者。該社創立伊始。便發生此不祥事。予新興工業會社一大打擊。至爲憾事。況當前於大正六年。會以橫領案。被處懲役三月。准予緩刑。大正九年二月。在東京裁判所。以竊盜詐欺私文書僞造行使罪。懲役八月。因非良善之徒。該社竟任用。其爲總務。豈非失策。至於市民被騙之欺。多至萬圓。且有因被所欺。致失職者。如公學校訓導周泉氏。爲欲辦職該社。託其周旋。被詐騙。桃園庄。被詐騙三百圓。保證金千圓。周旋料。現職。而入船町元公學校訓導。施庚申。爲運動會社用品納入。亦被詐二千圓。此外藉會社欺納水道料之欺。向住吉組假

高雄市政調查會 開財政部委員會 廿八日再議答申案

高雄市政調查會財政部委員會。二十二日午前十時。開于公會堂樓上。委員十七名。中十一名。及松尾市尹。須江助役以下市各課長上。事等各委員出席。委員長中村一造氏缺席。由是討論。各部會所決定各種答申案。關第二部稅。關第三部公債答申案。由中島委員。關第一部土地。由宮川委員。各詳細說明。對此各委員質疑。及於委員質成意見。等與開陳參考資料等。經熱心協議結果。大體將各部會所決定答申案。決定財政部委員會案。議至午後二時散會。而市當局。擬于來二十八日。開市政調查會。與議財政部委員會案云。

高雄市政調查會 開財政部委員會 廿八日再議答申案

高雄市政調查會財政部委員會。二十二日午前十時。開于公會堂樓上。委員十七名。中十一名。及松尾市尹。須江助役以下市各課長上。事等各委員出席。委員長中村一造氏缺席。由是討論。各部會所決定各種答申案。關第二部稅。關第三部公債答申案。由中島委員。關第一部土地。由宮川委員。各詳細說明。對此各委員質疑。及於委員質成意見。等與開陳參考資料等。經熱心協議結果。大體將各部會所決定答申案。決定財政部委員會案。議至午後二時散會。而市當局。擬于來二十八日。開市政調查會。與議財政部委員會案云。

大溪信組 廿四日總會

大溪街。大溪信用購買販賣利用組合第五回通常總會。訂二十四日午前九時。於街公會堂開之。附議事項。一。建物及機械設置變更。二。組合財產目錄。報告。二。組合財產目錄。貸借對照表事業報告及剩餘金處分案。三。關於組合綠褥金預入處。四。借入金及貸付金最高限度。五。準備金及一切積立金。事業資金融通。六。石坂機設置經費追加。七。理事一名辭任補欠。及監事二名任滿改選等件。當期配當金按一分五。

海山輕鐵 廿四日總會

臺北州下三峽庄海山輕鐵株式會社。訂來二十四日午前十一時。於本社事務所。開第三十一回定時株主總會。議決左記事項。一。昭和十一年下半期營業報告書。二。貸借對照表。財產目錄。損益計算書。三。無支護。受渡自己持分。四。總會所開催會。懇談會等。組合所開催會。無缺席。五。配當金。領時無選擧。六。本人及家族等有相當收入。七。勤儉而守約束。家庭十分圓滿。八。組合所經營事業貢獻。並每年募集。九。常時周行貯金及。十。每回提出通。爲一般模範等件。

臺灣產材需要頓增 營林所決定再起價

故安保辯護士 東京告別式 臺北遙弔式

故安保忠毅氏告別式。二十二日午後一時。臺于東京高圓寺自宅。有中川前總督。平塚前長官。松木臺電社長。森岡長官。其他朝野名士數百名。參列。燒香。又臺北市遙弔式。舉于樺山町淨土宗別院。有齋藤高等法院長。伊野高等法院檢察官長。鄭原臺大總長。藤山知事。助川大佐。暨各銀行。會社代表者。及關係官民三百餘名參列。嚴肅弔式。至五時半。盛況閉式云。

新營 警官異動

新營郡警察課巡查異動轉勤地及係名如下。去二十日發表如下。新任外勤高橋久矢。柏木清二。直轄加藤源治之遞。雙水假屋一男。內勤松尾春次郎岸內辻時森畑。白河取締員一宮常田。係尼子憲作。小關關盛順南各巡查。

舉地鎭祭

新營郡營農神社新築費。由郡民義誠奇附。募集金額約十二萬圓。建築設計。在郡役所北方距離約四町。訂二十四日舉地鎭祭。

防衛指導

新營郡下各街庄防衛團教育指導會。訂今五日下午二時起。開于郡公會堂。

人事

▲新竹郡五股庄役場林學傳氏。訂二十四日。辭職西渡。視察華南商務。

▲七星郡內湖庄役場。職員黃谷生氏。此回渥蘇與潘町保正黃金生氏之次女寬子結婚。訂來二十八日。在基隆神社。舉結婚式。

▲和尙洲保甲聯合會書記蔡城氏。勤續十六年餘。此回退職。庄中人士。於去二十一日夜。在鄉合會事務所。盛爲送別。並贈呈記念品云。

商況（廿三日）

米況 正米市況前場

▲二月限 中限 先限
一〇、一二 一〇、六八 一〇、七二
一一、一八 一〇、九九 一〇、七七
一一、一五 一〇、八六 一〇、七〇
三〇〇

期米 大阪期米前場

三月	三一、三〇	三一、三〇
四月	三一、三〇	三一、三〇
五月	三一、三〇	三一、三〇
六月	三一、三〇	三一、三〇
七月	三一、三〇	三一、三〇
八月	三一、三〇	三一、三〇
九月	三一、三〇	三一、三〇
十月	三一、三〇	三一、三〇
十一月	三一、三〇	三一、三〇
十二月	三一、三〇	三一、三〇
一月	三一、三〇	三一、三〇
二月	三一、三〇	三一、三〇

三〇〇

東京期米前場

三月	三一、三〇	三一、三〇
四月	三一、三〇	三一、三〇
五月	三一、三〇	三一、三〇
六月	三一、三〇	三一、三〇
七月	三一、三〇	三一、三〇
八月	三一、三〇	三一、三〇
九月	三一、三〇	三一、三〇
十月	三一、三〇	三一、三〇
十一月	三一、三〇	三一、三〇
十二月	三一、三〇	三一、三〇
一月	三一、三〇	三一、三〇
二月	三一、三〇	三一、三〇

三〇〇

神戶期米前場

三月	三一、三〇	三一、三〇
四月	三一、三〇	三一、三〇
五月	三一、三〇	三一、三〇
六月	三一、三〇	三一、三〇
七月	三一、三〇	三一、三〇
八月	三一、三〇	三一、三〇
九月	三一、三〇	三一、三〇
十月	三一、三〇	三一、三〇
十一月	三一、三〇	三一、三〇
十二月	三一、三〇	三一、三〇
一月	三一、三〇	三一、三〇
二月	三一、三〇	三一、三〇

三〇〇

東京短期取組喰合

新東	三八、四〇	三八、四〇
日産	三八、四〇	三八、四〇
東レ	三八、四〇	三八、四〇
帝人	三八、四〇	三八、四〇
日曹	三八、四〇	三八、四〇
昭和肥	三八、四〇	三八、四〇
日電工	三八、四〇	三八、四〇
日石	三八、四〇	三八、四〇
日鉱	三八、四〇	三八、四〇
日窒	三八、四〇	三八、四〇
日本人絹	三八、四〇	三八、四〇
鐘紡	三八、四〇	三八、四〇
東京電	三八、四〇	三八、四〇
東京瓦斯	三八、四〇	三八、四〇
東京人絹	三八、四〇	三八、四〇
東京製綱	三八、四〇	三八、四〇
東京製鋼	三八、四〇	三八、四〇
東京製絹

東海新報

百二十五共印夕日本

反逆生

悪魔の口車の大盛観!! 責苦の念

任侠と子分の生活

女性初の全科百大の喫驚大

急所語る秘密座談会

婦人科医と夫婦生活の全

診察室と夫婦生活の全

東海の家元宗匠の大奥

奥谷流生花の秘訣

母の信仰

破の秘訣

夫の無試験の難関

博士の新特殊話

肉眼向の三百万言語の作方

重症の慢性病を明の油で全治した驚

重症の肺病の父の自殺未遂の神秘

重症の胃腸病を林檎だけで治した驚

三百万人の大座談会

動く絵本

少女歌劇 三月

第三附録 カレンダー 式毎日のお料理と作方

第二附録 新案折紙式の

第一附録 カレンダー 式毎日のお料理と作方

第二附録 新案折紙式の

産業組合の配當金問題
一律的制限は考へもの

一

台灣の産業組合では從來出資一口に對する配當金に關する制限がなかつたので、配當は年六分以下、七分以下の二つの外に、年六分五厘以下、六分五厘以下といふやうに、年六分を基準として、それ以下は一分宛、それ以上は一分五厘宛といふ風に、一分宛の差を設けて、配當の制限をしてゐる。

二

此の制限は、組合の利益金の處分に關する制限であつて、利益金の處分の仕方は、組合の自由に委ねてゐるから、その内容によるべきで、一概に論ずることは出來ない。又、此の制限は、組合員の不誠を懲らすか、或は貯金利率の引上げに利用する爲めの制限といふやうなことはない。

三

此の制限は、組合員の利益金の處分に關する制限であつて、利益金の配當を制限するものではないから、此の制限の爲めに、組合員の利益金の處分に關して、組合員が不當の干渉をすることは出來ない。

四

此の制限は、組合員の利益金の處分に關する制限であつて、利益金の配當を制限するものではないから、此の制限の爲めに、組合員の利益金の處分に關して、組合員が不當の干渉をすることは出來ない。

五

此の制限は、組合員の利益金の處分に關する制限であつて、利益金の配當を制限するものではないから、此の制限の爲めに、組合員の利益金の處分に關して、組合員が不當の干渉をすることは出來ない。

六

此の制限は、組合員の利益金の處分に關する制限であつて、利益金の配當を制限するものではないから、此の制限の爲めに、組合員の利益金の處分に關して、組合員が不當の干渉をすることは出來ない。

七

此の制限は、組合員の利益金の處分に關する制限であつて、利益金の配當を制限するものではないから、此の制限の爲めに、組合員の利益金の處分に關して、組合員が不當の干渉をすることは出來ない。

八

此の制限は、組合員の利益金の處分に關する制限であつて、利益金の配當を制限するものではないから、此の制限の爲めに、組合員の利益金の處分に關して、組合員が不當の干渉をすることは出來ない。

九

此の制限は、組合員の利益金の處分に關する制限であつて、利益金の配當を制限するものではないから、此の制限の爲めに、組合員の利益金の處分に關して、組合員が不當の干渉をすることは出來ない。

十

此の制限は、組合員の利益金の處分に關する制限であつて、利益金の配當を制限するものではないから、此の制限の爲めに、組合員の利益金の處分に關して、組合員が不當の干渉をすることは出來ない。

重大閣議の結果遂に總辭職に決定
首相參內して辭表奉呈
後繼内閣に對して陸軍は强硬な注文
近衛、宇垣、未次の三氏に有力視さる
首班に大命降下

【東京二十二日發至急報】（一部號外再錄）政府は二十二日午後三時二十五分より首相官邸に臨時重大閣議を開き協議した結果、内閣不統一の責を負ひ遂に總辭職するに決定した、依つて廣田首相は同四時五十分宮中に參內閣下に辭表を奉呈した

【東京二十二日發】廣田内閣は二十二日遂に總辭職するに至つたが、西園寺公爵書原田熊雄述「重臣會議」は二十三日午前九時三十五分より開かれ、引續き午前十時から元老西園寺公爵邸に於て開かれた。

出席者は若槻禮次郎、平沼騏一郎、阿部信行、廣田弘毅の四氏で、午前十時から十一時半まで會見した。

會見の内容は、後繼内閣の問題に關するもので、會見の結果、陸軍の意向を尊重して、宇垣一成大將に大命が降下することに内定した。

尚ほ、宇垣大將は、組閣の大命を拜したが、陸軍大臣の推薦を得ることが出來ないので、遂に大命を返上するに至つた。

政黨の時局認識が因
陸相、辭職の理由表明

【東京二十二日發】廣田内閣は二十二日午後八時二十分閣内において次の如く談つた

現下の政情が自分の信念と異なるものがあるので二十一日辭表を奉呈の手續を執つた、斯くの如き情勢に立至つた原因が政黨内閣の復活かその原因であるかの如く云ふ何もあるさうだが決してさういふ訳ではない、現内閣の政策遂行を協力する爲に閣僚を送つてゐる政黨の議會開會前における黨大會の宣言、黨首の演説、休會明第一日における黨代表の演説、議場の空氣等に徴しても明かなる如く時局に對する認識が吾々と根本的に異つてゐることを確認したからである、從つて現下の情勢は根本的に時局に對する認識を異にするものが每會每條に依り一時を糊塗することに依つては到底乘切ることは出來ないと思ふ、之を要するに斯くの如き情勢下においては本閣就任以來の使命として實力を盡して來た眞紀嚴正、擧國協力の精神は到底發揮することが出來ないと信ずる故に茲に慨然辭を乞ひ奉つた次第である、尚ほ私の辭表は閣僚より先に提出されたものであります

政黨この提携排撃
後繼内閣に對する陸軍の熱烈な要望……

【東京二十二日發】廣田内閣は後繼内閣に對し擧國一致の如く期待してゐるが、政黨内閣の復活を絶對に排撃する方針で、既に政友會は内閣に對し、

一、現下國際情勢の重大性に鑑み擧國一致の體制を確立すること

一、從つて新内閣は政黨内閣の復活を絶對に排撃すること

一、新内閣に政友、新の斷行、國防充實、國民生活の安定、經濟力擴充の遂行を重大使命とすること

以下閣員には絶對に非政黨人を以てすること

等を要望し、更に政友會は内閣に對し、

一、新内閣は政友會の協力を絶對に排撃すること

一、從つて新内閣は政友會の協力を絶對に排撃すること

一、新内閣は政友會の協力を絶對に排撃すること

一、新内閣は政友會の協力を絶對に排撃すること

一、

比島と南支の工業・工藝（一）

月餘視察から帰った　藤山源助氏談

政局不安と財界の警戒

矯激なる統制政策を恐れて

無氣味な重壓裡に沈默

物價騰貴　抑制策も實行されるから物價も漸次緩慢な程度に落ち着くに至るであろう、この際本邦財界が覺悟と醫断を以て臨むことは元より當然の措置であるが、右許可制實施に伴って生ずる弊害は再實上輸出の阻止、輸入の干渉となること明かであり假に統制

内地の肥料消費

一億五千萬圓突破

十年は前年より一割増加

數量では過燐酸が首位

投機熱も冷め行過ぎの物價も訂正さるれん

輸入爲替許可制は先づ成功

保田臺銀頭取歸來談

自國船主義で勞資協調せよ

海上勞働總會に出席した

使用者代表　古川虎三郎氏談

日鑛の拂込と擴張

臺灣鑛業合併が問題

銅價奔騰で増益多大

鮮米實收高

第二回より七十八萬石減

貨車不足で石炭滯貨の山

驚歎の炭業者は悲鳴

照南丸

南支海へ

基隆十二月中手形交換高

島内契約の生保概況

契約高三億九百萬圓

東京株況後場

大阪期米後場

臺中米價

商況（廿三日）

正米市況後場

株式

米況